

## 腸閉塞(イレウス)の看護ケアマップ

ID : @PATIENTID

患者名 : @PATIENTNAME

月日 経過	入院	翌日~				退院
達成目標	腹痛・腹部膨満が緩和し、嘔吐が消失する。 	水分・食事摂取後も腹痛・嘔気がない。 排ガス・排便がある。 歩行できる。または、車椅子に乗れる。 				30分以上かけて、よく噛んでゆっくり食事ができる。 暴飲暴食しない。 便秘にならないように注意できる。 
観察	お腹の状態や症状を観察させていただきます。 体温・血圧をはかります。 STチューブからの排液を観察します。 					
活動・安制度	歩行できます。安静にする必要はありません。 					
食事	絶飲食 	医師の指示により水分・食事が開始されます。 水分可 	流動食(3分粥) 	極きざみ(5分粥) 	きざみ(7分粥) 	軟食(全粥)、常食(米飯)  
清潔	温かいタオルで身体を拭きます。自分で拭ける方にはタオルを配ります。 				胃管カテーテルが抜けたあとはシャワー浴ができます。 	
排泄	1日の排尿回数・排便回数を確認します。 指示があるまで、蓄尿の機械に尿をためて頂きます。 					
治療・処置	点滴をします。 必要時、消化管の減圧のため、 経鼻胃管カテーテル(STチューブ)が入ります。 	医師の診断により STチューブが抜けます。	点滴が抜けます。			
薬剤	今まで飲んでた内服薬を確認します。 	必要に応じて、漢方薬や下剤など処方されます。 				
検査	必要に応じて、採血・レントゲンがあります。 					
患者様 ご家族への 説明	入院診療計画書をお渡しします。 移動時、点滴や管が抜けないように注意してください。 パジャマや下着は前開きのものを用意してください。 	腹痛や吐き気、嘔吐の症状があれば看護師にお知らせ下さい。 『イレウスを予防しましょう』のパンフレットをお渡しします。 	説明書 			腹痛や吐き気が続く時は、早めに受診してください。 お大事にして下さい。 

年 月 日